

関西学院大学大学院 教職課程別表

学則第48条に定める教員の養成に関する理念・目的は次のとおりとする。

関西学院大学における教員養成に関する理念と目的

関西学院は、1889年（明治22年）にアメリカ南メソヂスト監督教会の宣教師W.R. ランバースによって、「キリスト教主義に基づく人間形成」を建学の精神として創設された。これを端的に表現しているのが、“Mastery for Service”（奉仕のための練達）であり、「奉仕の精神を支える練達」と解されている。本学はこれをスクールモットーに掲げ、キリスト教主義を教育理念とし、教育基本法および学校教育法の規定するところに従い、人格の陶冶を目的とし、全人的教養とともに専門的知識・技能および高い研究能力を備え、それを社会に還元できる学生を育成している。

そして、教員養成においてもキリスト教主義をその理念とし、1924年（大正13年）に英語科において中等学校教員無試験検定資格が付与されて以来、“Mastery for Service”の大切さを知り、教育の場を通してそれを実践できる教員、つまり「関学らしい教員」の育成を目的とし以下のような資質・能力を備えた人材を学校現場に輩出し続け、斯界を含め各方面から高い評価を得ている。（・資質：①真なるもの崇高なるものへの洞察と畏敬の念を持つ。②人間及び自然に対する尊敬を重んじ、確かな人権意識を持つ。③人種・国籍を越えてすべての人たちと係わり、支え合おうとする姿勢を持つ。④社会の変化に対応し、いかなる困難にも立ち向かうことのできる芯の強さと柔軟性を持つ。・能力：①高度な専門性を備えた学部教育を通じて、深い学問的知識と探究心を有す。②教職課程のカリキュラムを基礎とした幅広い人間理解と、確かな実践的指導力を有す。）そして現在、本学の建学の精神を体現し、本学院創立当初から培われてきた国際性と社会貢献への使命感を身につけた世界市民を育成するとともに、総合大学の特色を生かし、教職課程のカリキュラムによる教職に関する専門的知識及び研究科における研究と高い専門性を備えた教育に基礎を置く学問的知識を獲得し、グローバルな視野で、幅広く確かな実践的指導力を持った教員を養成することを目指している。

神学研究科における教員養成に関する理念				
神学研究科では、「関西学院大学における教員養成に関する理念と目的」に基づき、「幅広くキリスト教に関する知見を具え、多元化社会において深い見識の下、具体的な社会や世界の問題を発見し、これと取り組み、解決できる人材を育成すること」を教員養成の理念としている。				
教員養成の目的	神学専攻	中学校専修	宗教	中学宗教科においては宗教についてのより高度な知識の習得が求められる。本研究科においては、キリスト教、聖書ならびにその文化についての専門的な知識を修得することによって、宗教、特にキリスト教と身近な社会や世界との関わりについての深い知識と理解を持った教員を養成する。
		高等学校専修	宗教	高校宗教科においてはキリスト教に関するより高度な知識を基盤として、宗教ならび宗教と社会との関わりに関する広い知識と理解を身につけることが求められる。本研究科においては、キリスト教、聖書ならびにその文化についての専門的な知識を修得することによって、諸宗教・文化と対話し、社会や世界の問題に特にキリスト教的な立場から取り組むことが出来る教員を養成する。

文学研究科における教員養成に関する理念				
文学研究科では、「関西学院大学における教員養成に関する理念と目的」に基づき、研究科独自の教育理念を活かし、特に次のような教員の育成を目指している。 ○学知のありようが広がりを見せている現代社会の中で、人文科学の持つ総合性と多様性に応じた高度で知的な素養を積み上げていくことに対し、主体的・創造的に取り組んでいこうとする教員。 ○自らの研究を通じて得た知識を社会に向けて発信するために必要なしなやかな思考能力を有するとともに、そのことによって知的基盤社会を支える一員として生きていこうとする強い意志を持った教員。				
教員養成の目的	文化歴史学専攻	中学校専修	社会	文化歴史学専攻では、哲学・美学芸術学・地理学・歴史学に軸足を置いた柔軟な思考能力と優れた技能とを身につけ、人間社会が辿ってきた道のりについて正確な知識を有するとともに、知識基盤社会化の傾向が進む現代にあって人間社会がとるべき針路について、幅広い視野のもとに考えていく力を身につけた教員の養成を目指す。
		高等学校専修	地理歴史	文化歴史学専攻では、歴史学および地理学を多角的かつ系統だてて研究することによって得た高度な専門的知識としなやかな感覚をもとにして、急速な勢いをもって進むグローバル化した世界の中で生起する歴史および地理的諸課題のありようにまで思考を伸ばし、主権者たる市民意識を育てる教員の養成を目指す。
		高等学校専修	公民	文化歴史学専攻では、先哲の考え方を通して人間の存在や価値についての思索を深める、民族・人種をめぐって世界がどのような歴史を織りなしてきたのかについての理解を深めるなどといった領域の特性を活かして、現代に生きる人間の倫理的な課題や現代社会の抱える諸問題について、高度な専門性に裏打ちされた知識と問題解決能力を有する教員の養成を目指す。
	総合心理学専攻	中学校専修	社会	総合心理学専攻では、実証科学的な問題探究能力の育成にも力を注ぐ同専攻の特徴を活かして、知識基盤社会化の傾向が進む現代にあって人間社会がとるべき針路についての幅広い視野を有するとともに、そこに生じる問題について解決する力を備えた教員の養成を目指す。
		高等学校専修	公民	総合心理学専攻では、科学技術と人間との関わりについての学びにも力を注ぐ同専攻の特徴を活かして、現代に生きる人間の倫理的な課題や現代社会の抱える諸問題について、高度な専門性に裏打ちされた知識と問題解決能力を有する教員の養成を目指す。
	文学言語学専攻	中学校専修	国語	文学言語学専攻では、日本文学および日本語学に関する多岐にして創造的な研究を通して得た豊かな教養としなやかな言語感覚を活かして、国語を正確に理解し表現することや、国語を通じて思考力や想像力を育むことに向けての実践力を発揮できる教員の養成を目指す。
		高等学校専修	国語	文学言語学専攻では、日本文学および日本語学に関する多岐にして創造的な研究を通して得た豊かな教養としなやかな言語感覚を活かして、各教科の学習の基本となる国語の能力を学習者に身につけさせるとともに、日本の言語文化に対する深い関心を育むことに向けての実践的指導力を発揮できる教員の養成を目指す。
		中学校専修	英語	文学言語学専攻では、英米文学および英語学に関する多岐にして創造的な研究と学びを通じて高い水準に達した英語力と英語文化圏についての知識を活かして、英語を通じて言語や文化に対する理解を深めることや積極的にコミュニケーションを図る態度を育むことに向けての実践的指導力を発揮できる教員の養成を目指す。
		高等学校専修	英語	文学言語学専攻では、英米文学および英語学に関する多岐にして創造的な研究と学びを通じて高い水準に達した英語力と英語文化圏についての知識を活かして、英語を通じて言語や文化に対する理解を深めることや、自分の考えを適切に発信できるコミュニケーション能力を身につけさせることに向けての実践的指導力を発揮できる教員の養成を目指す。
		中学校専修	フランス語	文学言語学専攻では、フランス文学およびフランス語学に関する多岐にして創造的な研究と学びを通じて高い水準に達したフランス語力とフランス語文化圏についての知識を活かして、フランス語を通じて言語や文化に対する理解を深めることや積極的にコミュニケーションを図る態度を育むことに向けての実践的指導力を発揮できる教員の養成を目指す。
		高等学校専修	フランス語	文学言語学専攻では、フランス文学およびフランス語学に関する多岐にして創造的な研究と学びを通じて高い水準に達したフランス語力とフランス語文化圏についての知識を活かして、フランス語を通じて言語や文化に対する理解を深めることや、自分の考えを適切に発信できるコミュニケーション能力を身につけさせることに向けての実践的指導力を発揮できる教員の養成を目指す。
		中学校専修	ドイツ語	文学言語学専攻では、ドイツ文学およびドイツ語学に関する多岐にして創造的な研究と学びを通じて高い水準に達したドイツ語力とドイツ語文化圏についての知識を活かして、ドイツ語を通じて言語や文化に対する理解を深めることや積極的にコミュニケーションを図る態度を育むことに向けての実践的指導力を発揮できる教員の養成を目指す。
		高等学校専修	ドイツ語	文学言語学専攻では、ドイツ文学およびドイツ語学に関する多岐にして創造的な研究と学びを通じて高い水準に達したドイツ語力とドイツ語文化圏についての知識を活かして、ドイツ語を通じて言語や文化に対する理解を深めることや、自分の考えを適切に発信できるコミュニケーション能力を身につけさせることに向けての実践的指導力を発揮できる教員の養成を目指す。

法学研究科における教員養成に関する理念				
法学研究科では、「関西学院大学における教員養成に関する理念と目的」及び法学研究科独自の理念「ソーシャル・アプローチ」に基づき、次のような高度専門職業人としての教員の育成を目指している。 広く深い社会的視野と教養に根ざした法学政治学の研究を極めることを通じ、法と政治の基礎にある自由と人権、正義を重んじ、社会に奉仕する精神に富む、高度の専門的能力をもつ有為な高度専門職業人としての教員。				
教員養成の目的	法学・政治学専攻	中学校専修	社会	法学研究科の理念「ソーシャルアプローチ」の下、法学・政治学の専門的研究を極めることで得る深い市民社会的思考（シヴィック・マインド）を身につけ、さらに大学院での専門的研究や「国際法」「比較政治・外交分析」などの科目を通して得る深い学識の上に成り立つ幅広く複眼的な視野で社会を見ることができる教員の養成を目指す。
		高等学校専修	公民	法学研究科の理念「ソーシャル・アプローチ」の下、「研究演習」・「リサーチ演習」といった理論と実務を平行して研究をすすめていく過程で、法学・政治学に留まらず広く社会科学の分野においての豊かな学識を得る。法学研究科ではその豊かな学識を背景とした社会科教育に携わることができる教員養成を目指す。

経済学研究科における教員養成に関する理念				
経済学研究科では、「関西学院大学における教員養成に関する理念と目的」に基づき、経済学研究科独自の教育理念を活かし、経済学の理論および応用を研究することにより、冷静な頭脳と暖かな心情の双方を持ち合わせ、変化する現実のなかで国際的な視野と多面的なものの見方をバランスよく習得し、義務教育や後期高等教育で社会科学的な視点に立ち、生徒の教育・指導にあたる教員の養成を目指している。				
教員養成の目的	経済学専攻	中学校専攻	社会	中学一種免許に求めるものに加え、研究科で得たより高度な経済学的知識や、高度な経済学研究の経験を基礎に、現代社会・政治経済分野にたつ視点から、地理歴史的分野をも含む義務教育段階における「中学校社会」全般を俯瞰できる教員の養成を目指す。
		高等学校専攻	地理歴史	高校一種免許に求めるものに加え、研究科の教育指導で得たより専門的な経済学の知識や、経済学研究で得た論理的思考力、データ分析力を活かして、ますます諸外国とのつながりを増す現代に生きる高校生への後期中等教育としての「地理歴史」の教育を担える教員養成を行う。
		高等学校専攻	公民	高校一種免許に求めるものに加え、研究科の教育指導で得たより専門的な経済学の知識や論理的思考力、データ分析力を活かして、「民主国家」の国民として、その習得が重要となる後期中等教育としての「公民」の教育を担える教員養成を行う。

商学研究科における教員養成に関する理念				
商学研究科では、「関西学院大学における教員養成に関する理念と目的」に基づき、研究科独自の教育理念の下、特に次のような教員の育成を目指している。 ○専門的知識と技能を修得する意欲にあふれ、それによる教育を通じて社会に奉仕しようとする積極的な意識と姿勢を有する教員。 ○問題を発見し、問題の本質を問い、論理的考察と多面的総合的視点から現象を的確に判断し行動する能力を有する教員。 ○社会経済構造や歴史的文化的背景を異にする他の多くの主体との共生を図ろうとする意識と積極的な姿勢を有する教員。				
教員 の 目 的	商 学 専 攻	高等学校専修	商業	本課程では、商業の各分野に関する基礎的・基本的知識と技術、専門的知識と専門的技術、総合的教養、高いコミュニケーション能力を習得させ、現代社会のなかで企業などの経済主体が果たす役割を理解させるとともに、その行動原理と仕組み、そこで用いられる政策や管理方法とそれらが社会に及ぼす影響、経済主体の社会的責任・倫理の重要性などを体系的に把握・分析・理解し社会発展に貢献する創造的能力と実践的態度を育成できる教員の養成を目的とする。

理工学研究科における教員養成に関する理念				
理工学研究科では、「関西学院大学大学院における教員養成に関する理念と目的」に基づき、次のような教員を育成することを目指す。 1. “Mastery for Service”の理念を意識し、他人に奉仕する精神を忘れず、教員としての職業モラルを有する。 2. 理工学研究科の教育課程で提供されている自然科学とその応用についての先端的研究を通じ、「自ら考える力（問題解決力）」を培っている。 3. 各専攻で開講される科目（各専攻において開講する特論と特殊講義）の履修、及び国内外での学会発表等を通じて、十分な専門知識と国際感覚を身につけ、それを教科の指導に活かすことができる。 4. 研究室での指導や、T A活動の経験を活かし、幅広い視野を持って、実践的指導を行うことができる。				
教員養成の目的	数理学専攻	中学校専修	数学	数理学専攻は、「理工学研究科における教員養成に関する理念と目的」に基づき、数学領域における基礎理論を修得し、専門性の高い課題に主体的に取り組み、課題を解決できる能力を持ち、生徒に数学分野への関心を抱かせることのできる教員を育成する。
		高等学校専修	数学	中学校専修に記した理念に加え、修得した数学の知識と基礎的研究能力を活用でき、教育現場で通用する授業実践力、生徒の多様な問題に対応できる指導力、教員としての職業モラルと職務遂行能力を有した教員を育成する。
	物理学専攻	中学校専修	理科	「理工学研究科における教員養成に関する理念と目的」に基づき、物理学の重要な概念の理解と物理学的なアプローチ・論理的思考方法を用いて、現代社会における物理学の意義と重要性を正しく認識し、理科教育に対して主体的に取り組み、さらには大学院における研究活動を通して修得した物理学の最新の成果と専門的な知識・技能を活かし、生徒に自然科学への深い関心を喚起し、発展させることで諸現象に対して科学的なものの見方を身につけさせることのできる教員を育成する。
		高等学校専修	理科	中学校専修に記した理念に加えて、大学院で修得した物理学の広範な知識を用いて生徒の多様な興味・関心に応える教育を行うことができる総合的な能力を有し、先端的な研究活動を通して修得した実践的な研究能力を活かして自然科学上の個々の課題に対しても適切に生徒を導くことのできる指導力を発揮することのできる教員を育成する。
	先進エネルギー・ナノ工学専攻	中学校専修	理科	「理工学研究科における教員養成に関する理念と目的」に基づき、ナノテクノロジーを基盤とした先進エネルギー科学・工学の分野における専門性の高い課題に主体的に取り組み、課題解決のために要求される基礎概念の理解と基本的な手法の修得によって、生徒に物理および化学分野への関心を抱かせることのできる教員を育成する。
		高等学校専修	理科	中学校専修に記した理念に加えて、大学院で修得した先進エネルギー分野の広範な知識を用いて生徒の多様な興味・関心に応える教育を行うことができる総合的な能力を有し、先端的な研究活動を通して修得した実践的な研究能力を活かして自然科学上の個々の課題に対しても適切に生徒を導くことのできる指導力を発揮することのできる教員を育成する。
	化学専攻	中学校専修	理科	「理工学研究科における教員養成に関する理念と目的」に基づき、化学における専門性の高い課題に主体的に取り組み、課題解決のために要求される基礎概念の理解と基本的な手法の修得によって、生徒に化学分野への関心を抱かせることのできる教員を育成する。
		高等学校専修	理科	中学校専修に記した理念に加えて、化学における専門性の高い課題への主体的な取り組みによって修得した知識と基礎的研究能力を活用し、教育現場で通用する授業実践力、生徒の多様な問題に対応できる指導力を有した後期中等教育課程を担う教員を養成する。
	環境・応用化学専攻	中学校専修	理科	「理工学研究科における教員養成に関する理念と目的」に基づき、地球や環境を化学の立場から捉え、地球環境問題の解決に貢献するため主体的に取り組み、解決に導くための方法を身につけ、その能力を教育の現場で活かすことのできる教員を養成する。
		高等学校専修	理科	中学校専修に記した理念に加えて、化学および地学を基礎としながら専門性が高くかつ最先端で幅広い自然科学の知識と技術を習得し、教育現場で通用する授業実践力や指導力、教員としてのモラルと職務遂行能力を有した教員を養成する。
	生命科学専攻	中学校専修	理科	「理工学研究科における教員養成に関する理念と目的」に基づき、微生物から高等動植物に至る生物の基本法則を理解し、生命科学分野の専門性の高い課題に主体的に取り組み、解決できる能力を備え、生徒に生物分野への関心を抱かせることのできる教員を育成する。
		高等学校専修	理科	中学校専修に記した理念に加え、修得した生命科学の知識と基礎的研究能力を活用でき、教育現場で通用する授業実践力、生徒の多様な問題に対応できる指導力、教員としての職業モラルと職務遂行能力を有した教員を育成する。
	生命医科	中学校専修	理科	「理工学研究科における教員養成に関する理念と目的」に基づき、分子レベルでの生命の基本法則を理解し、基礎医化学分野の専門性の高い課題に主体的に取り組み、解決できる能力を備え、生徒に医化学分野への関心を抱かせることのできる教員を育成する。

	IT学専攻	高等学校専修	理科	中学校専修に記した理念に加え、修得した生命医化学の知識と基礎的研究能力を活用でき、教育現場で通用する授業実践力、生徒の多様な問題に対応できる指導力、教員としての職業モラルと職務遂行能力を有した教員を育成する。
	情報科学専攻	中学校専修	数学	「理工学研究科における教員養成に関する理念と目的」に基づき、数学における基礎理論を修得し、情報科学の専門性の高い課題に主体的に取り組み、課題を解決できる能力を持ち、生徒に数学への関心を抱かせることのできる教員を育成する。
		高等学校専修	数学	中学校専修に記した理念に加え、修得した数学の知識と基礎的研究能力を活用でき、教育現場で通用する授業実践力、生徒の多様な問題に対応できる指導力、教員としての職業モラルと職務遂行能力を有した教員を育成する。
		高等学校専修	情報	「理工学研究科における教員養成に関する理念と目的」に基づき、健全な情報化社会の構築に貢献するために、情報科学の幅広い知識と深い理解力を身につけ、専門性の高い課題に主体的に取り組み、柔軟に解決できる能力を備え、生徒に情報科学への関心を抱かせることのできる教員を育成する。
	人工間学シ専攻	高等学校専修	情報	「理工学研究科における教員養成に関する理念と目的」に基づき、健全な情報化社会の構想を立案するために、情報科学の幅広い知識と理解力を身につけ、情報技術の人間社会への応用に関する知識を用いて、専門性の高い課題に主体的に取り組み、柔軟に解決できる能力を備え、生徒に情報科学への関心を抱かせることのできる教員を育成する。

教育学研究科における教員養成に関する理念				
教育学研究科では、「関西学院大学における教員養成に関する理念と目的」に基づき、学部独自の教育理念を活かし、特に次のような教師の育成を目指している。 「子ども理解」を基礎にした「実践力」、「教育力」及び「人間力」を踏襲しながら、「子ども理解」を基本理念として、教育学、心理学を基にした学際的なアプローチで、現代社会が直面する多様で複雑な教育問題の解決に向けた高い能力を持った教師。				
教員養成の目的	教育学専攻	幼稚園専修		幼稚園教育においては、幼稚園と小学校とが連携し、一貫した流れを形成することが重視されているが、長期的成長過程を視野においた教員の十分な「子ども理解」とそれに基づいた実践力を養い、維持することが難しいのが現状である。こうした現状認識に基づいて、乳幼児期の発達理論を修得し、あわせて小学校段階の児童の発達理論を理解した幼稚園教員を養成することを目指す。
		小学校専修		小専修においては、小学校段階までの児童の発達理論を修得し、教科内容に関する専門的な研究を行い、教育の専門家としての指導力、豊かな人間性や社会性、コミュニケーション能力などを身につけた優れた小学校教員、つまり高度な専門性によって指導的な役割を担うことのできる専門的教育者を養成することを目指す。
		中学校専修	社会	青年期までの児童生徒の発達理論を修得し、教育学に関する幅広い専門的な研究を行い、教育の専門家としての指導力、豊かな人間性や社会性、コミュニケーション能力などを身につけた優れた中学校教員を養成することを目指す。教育学研究科における教育研究は、個別の学問領域に特化した視点のみでは担いきれない、多様な実践的アプローチが要求される現代社会の諸問題を扱う科目である社会科の教員養成にとりわけ有益である。
		高等学校専修	公民	青年期までの児童生徒の発達理論を修得し、教育学に関する幅広い専門的な研究を行い、教育の専門家としての指導力、豊かな人間性や社会性、コミュニケーション能力などを身につけた優れた高等学校教員を養成することを目指す。教育学研究科における教育研究は、個別の学問領域に特化した視点のみでは担いきれない、多様な実践的アプローチが要求される現代社会の諸問題を扱う科目である公民科の教員にとりわけ有益である。

言語コミュニケーション文化研究科における教員養成に関する理念				
言語コミュニケーション文化研究科では、「関西学院大学における教員養成に関する理念と目的」に基づき、研究科独自の教育理念を活かし、特に次のような教師の育成を目指している。本研究科は、本学の基本理念のもとに高度な言語コミュニケーション能力を備え、建学の精神に基づく豊かな人間性と国際的・文化的視野をもち、高度の学問的専門性を備えた人材を養成し、社会に貢献することを理念とする。特に言語教育学の領域においては、言語コミュニケーションをいかにして効率的に習得させるかという方法論を探究すると共に、異文化に対する知識と理解を備えたグローバル人材を育成することで、教育現場における現代的なニーズに応えることが出来るような人材の輩出を目指している。				
教員養成の目的	言語コミュニケーション文化専攻	中学校専修	英語	特に中学においては、外国語を通じて言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成が求められている。言語と文化に対する理解はまさに本研究科の目指すものであり、本研究科での教育・研究活動を通して生徒と社会の多様なニーズに応えることの出来る中学教員の育成を目指す。
		高等学校専修	英語	高校教員には、さらに高度な言語運用能力と専門的な知識が求められる。本研究科が提供する「言語コミュニケーション能力養成科目」を通して育成される高度な言語運用能力と、「言語教育学領域」の諸科目に代表される言語教育のための専門科目履修を通して得られる高度な専門知識を備えた教員の育成を目指す。